



2013.2.17 納骨堂説明会

四旬節

助任司祭 アントニー

「自分の中に悪を認めない人は幼いんですよ。」と曾野綾子氏は『時の止まった赤ん坊』の中にこう書かれています。四旬節を過ごしている私の心に刺されるような言葉に思えてきます。

先週と今週の主日の福音には、主イエスが「いちじくの木」と「放蕩息子」のたとえを用いて、人々に回心呼びかけておられたことが書かれています。主イエスは父なる神が常に私たちの回心を望んでおられることを示してくださいました。「放蕩息子」を待つ父親のように、私たちがご自分のもとに立ち帰るよう父なる神が常に待っておられることを主イエスは教えてくださいました。

このように神はいつも積極的に私たちに働きかけておられるのです。私たちにできることはあの「放蕩息子」のように自分の罪を認めることのみです。私たちにしか出来ないことでもあるのです。

無論自分の中の罪を認めることは簡単なことではないことを私たちは知っています。なぜなら自分の罪を認めることは勇気と強さが必要だからです。どこでそれを手に入れることができるのでしょうか。これこそ四旬節を過ごす意味なのではないでしょうか。

「悪を認めることによって人間の深みを知る」ことが出来るように共に四旬節を過ごしていきたいものです。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
 第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
 火曜日 午後7時
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
 聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分
 日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
 Sunday Mass in English 9:30 am
 (at the Maria Kan Hall)
 ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

受堅おめでとうございます



- | | | | |
|------------------------|-------|-------------|-------|
| 使徒ヨハネ | 李 祥仁 | ヴィンツェンツァ | 内田明佳 |
| ステファニー | 茨木優花 | ジェヌヴィエーヴ | 太田公子 |
| ベルナデッタ | 小久保結衣 | バレンタイン | 大谷孝憲 |
| フランチェスカ | 小浦汐音 | ミカエル | 加藤秀俊 |
| ボナベントウラ | 新内江戸 | ガブリエル | 加藤佳乃 |
| GAECILIA LARAS NASTITI | | ベルナデッタ | 桑原喜久子 |
| ベルナデッタ | 松本千怜 | 幼いイエスのテレジア | 小島和子 |
| セシリア | 三谷夏生 | トマス・アキナス | 小森敬治 |
| マリエッタ | 大塚雅 | サラ | 正野崎英子 |
| 幼いイエスのテレジア | 生駒紀子 | パウロ | 高木岩雄 |
| マリア・ルカ | 伊藤佳美 | マリアン | 高木竹子 |
| アガタ | 岩田三千代 | マザーマリア | 高島けい子 |
| | | シエナのカテリーナ | 徳平陽子 |
| | | カタリーナ・ラブレ | 中村弘美 |
| | | マリア・イマクラータ | 南川みち江 |
| | | キアラ | 柳生聖子 |
| | | マリア・アンジェリカ | 和波恵里 |
| | | エドゥイト・シュタイン | 松本了子 |
| | | ビルギッタ | 深田ちず子 |
| | | ジョン・ポール | 中村博文 |
| | | マグダラのマリア | 山田陽子 |

堅信式

堅信を受けて

マリア・ルカ 伊藤 佳美

信仰宣言をした時、洗礼を受けた日の思いがよみがえりました。より一層、神様と一緒に歩む決意を固くしました。喜びの気持ちで一杯です。

南山教会に転入してきたばかりのため、知り合いがいない中、勉強会で同じ堅信の準備をしている方々と一緒にニコ神父様の講座を受けるのが毎回の楽しみでした。まだ赤ちゃんの娘と一緒に出席していましたがニコ神父様が娘をいつも可愛がってくださりと嬉しかったです。そしてとっても素敵な代母・山田さんを紹介してくださった事務局の小林さんと、代母をこころよく引き受けてくださった山田さんに心から感謝しています。

堅信を受けて

セシリア・アラス

三か月間で勉強したことを振り返ると、とても良い気持ちを感じられます。日本語で堅信の勉強をするのは最初に難しいと思っ

たが、応援をしてくれる周りの人がたくさんいて、少しずつ成長ができました。

その勉強したことはだいたい、小学校の頃に学校の宗教の授業で勉強したことを思い出したりもつと深く学んだり考えたりすることです。

一泊黙想会の時にビデオを見て、そのあと、分かち合いをしたことが一番心に残ったことだと私が思いました。アルタバンという主人公のお話です。その主人公の周りの人に対する気持ちや困まっている人の生活のために助けることは、私がすごく尊敬しています。

それから、信仰生活や教会についても勉強しました。それを勉強すると、教会にある「中高生会」にできるだけ参加しようと、私が決めました。それと、毎日日教会に行くことも忘れずに。毎日心を込めて、祈りを。感謝すること。

家でのお手伝いをしたり、周りの人を自分でできるだけ助けたりして、周りの人がよるこんでくれるためにいろんなことを一生懸命にする。

正しい生活で生きたいと思いたら、それをしたいと思ったら、

かならず神に祈りを忘れずにして、信仰生活も真面目にやっています。

堅信を受けたので、信仰生活にも成長したいです。

堅信を受けて

ボナヴェントゥラ新内江戸

2月10日に沢山の信者の見守る中で僕と32人の人が野村司教様によって堅信の秘蹟を授けられました。僕は幼児洗礼で信者になりましたが、教会学校や中高生会には、あまり参加することはありませんでした。でも小さな頃から侍者をしているので仲間はいまです。堅信式の準備のためにアントニー神父様の勉強会に参加しました。黙想会にも参加しました。特に心に残ったのは「隣人愛」です。

小さな頃からお父さんに連れられていろんな教会で沢山の神父様に出会いました。ある神父様には「江戸」なんて古臭いから「東京」にしなさいと言われたことがあります。愛情にはいろんな形があるものだと思います。

代父の沢木たけしさんは、僕が小さい時から知っています。教会の人たちと名古屋港水族館へ行った時や、教会学校のキャンプへ

行った時も、ずっと一緒にいてくれました。お父さんには「小さい時のたけしさんに似てるよ」と言われ、なんだか不思議な気がしました。

僕のお父さんは、たけしさんを小さな時から知っていて、たけしさんは僕を小さな頃から知っていて、やがて僕にもそんな時が来るのかもしれない。教会の伝統はそういう人間と人間の関係の中で伝えられて行くのだと思います。堅信式は成人式に例えられますが僕はまだまだ子供だと思います。知らないことも沢山あります。本当に大人になれるようにしっかりと勉強していきたいと思えます。皆さん、司教様のためだけではなく僕のためにもお祈りしてください。





B・ノヴァク神父

6. 「天に昇って、全能の父である神の右の座に着き」ました。

復活したイエス・キリストはマダラのマリアに現れた時、次のように言われました。「わたしにすがりつくのはよしなさい。まだ父のもとへ上っていないのだから。わたしの兄弟たちのところへ行つて、こう言いなさい。『わたしの父であり、あなたがたの父である方、また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のところへわたしは上ると。』」（ヨハ 20・17）このイエスの言葉は、救いの計画を実現するために残されたわざを表しています。それは、「天に昇る」こと、つまり、神の御独り子が元々おられた「ところ」に戻ることに、「神の右の座に」着いて、再び神の栄光、神の権威にあずかることでした。

考えてみれば、「天から降つた」ときの御独り子と、今「天に昇る」御独り子には、異なるところがあります。それは、何かという人間性なのです。父と聖霊と

同じ神性を所有しておられる御独り子は、受肉の神秘、つまり人間になったことよって、神性の他に人間性を所有するようになりました。確かに死ぬことよって御独り子は、人間性を失いましたが、復活することよって、それを取り戻しただけではなく、もはやそれを失うことなく、永遠に自分のものにしたのです。

どうして、救いのわざを実現するために、御独り子の受肉、それから、死と復活だけではなく、昇天まで必要だったのでしょうか。それは、神の御独り子がイエス・キリストとして、つまり神性と人間性という二つの本性を所有している唯一のペルソナとして、父である神のもとに戻ったことよって、三位一体の内面的な命の中に人間性を「持ち込み」、神と人類との間に永遠に切れることのない繋がりを作つてくださったからです。この繋がりがこそが、新しい、永遠の契約であると言えるでしょう。この意味での契約が結ばれた時以来、すべての人々は、三位一

体の神と一体になることが可能になったのです。というのは、イエスが語られたとおりに、「天から降つて来た者、すなわち人の子のほかに、天に上つた者はだれもない」（ヨハ 3・13）ということですよ。つまり、愛よって神と結ばれるために、また、この愛の絆が完成されることよって神と一つになるために創造されても、罪を犯すことよって神から離れた人間は、自分の力だけでは、神のもとに戻ることができません。言い換えれば、神との正しい関係を失つた人は、いくら正しい生活をしたとしても、自分自身を救うことができないということなのです。それから、イエス・キリストの死と復活よって、人間が犯した罪の結果である死が滅ぼされて、私たちが復活するようになつても、イエス・キリストが昇天をされなかつたならば、永遠に生きるようになつた人間は、神の命にあずかることができなかったのです。永遠に人生の目的に到達することなく、どちらかというところ、不幸に生きてしまう。それなら、復活しない方がましだったでしょう。

「しかし、キリストは、人間の手で造られた、本物の模型にすぎない聖所にお入りになつたのではなく、天そのものにお入りになつたのです。そして今、神の前に立つてわたしたちのために執りなしておられるのです。」（ヘブ 9・24）人間性を持つて、神と自身が、「新しい、永遠の契約の唯一の祭司」、人間と神との間の唯一の仲介者となつています。天において私たちがのために執りなすことよって、つまり私たちが神と繋がることよってイエス・キリストはご自分の祭司職を果たしておられるということが言えます。今私たちは、私たちと同じ人間性を所有しておられるイエス・キリストと繋がることよって、神ご自身と繋がることができま

す。さらに、イエス・キリストと一つになることよって、神ご自身と一つになり、神の本性、神の愛と命、神の栄光と至福にあずかることができるのです。それこそ、父である神が私たち一人ひとりのために最初から求めておられた救い、神の御独り子が、受肉、十字架の上の死、復活と昇天よって可能にしてくださいました救いなのです。

カトリック南山教会納骨堂

- ・カトリック南山教会納骨堂は、原則として、南山教会所属の信徒及びその関係物故者の御遺骨の収蔵並びに追悼（慰霊）の祈祷のための施設として設置されます。ただし、第1期募集では、他の小教区所属のカトリック信者も使用を申込みすることができます。
- ・納骨堂の使用をご希望の方は、「カトリック南山教会納骨堂管理・運営規定」をご覧になり、その趣旨を十分にご理解の上、お申込みくださいますようお願いいたします。
- ・お申込みの方は、「カトリック南山教会納骨堂使用申込み用紙」に必要事項をご記入の上、下記までお持ちください。
- ・「納骨堂管理・運営規定」（抜粋）及び「納骨堂使用申込み用紙」は、南山教会ウェブサイトからダウンロードできます。郵送をご希望の方は、カトリック南山教会事務所までご連絡ください。
- ・2013年4月末までに永代祈祷料を全額納入する場合、御遺骨の収蔵日を永代期間である40年間の始まり（起算日）といたします。



2013年2月16日

申し込み受付：

場所：カトリック会館のK105室

日時：土曜日 午後2時～午後4時

日曜日 午前9時～午後1時

聖土曜日（3月30日）と

復活祭の主日（3月31日）は、休みです

駐車禁止



No parking



2013年3月3日

司祭団より

ニコ師4月から花巻教会へ転任。
7月からは、3月16日に叙階されるフック師が着任予定。

報告事項

堅信式について

2月10日9時半ミサの中で行われた。
司式は野村純一司教。
33人が受堅。
おそらく史上最多。

来年は2月23日に行われる予定。
定。

次年度各会委員名提出と確認

各会からの委員を報告する用紙が配布された。3月10日までに運営委員長に提出する。

新委員は4月7日9時半ミサ後に紹介と挨拶を行う。

教区典礼講習会

2月11日に行われた。
年に2回行われている。

60人の参加者中30名ほどが南山教会の方だった。

ミサについての理解が深まった。
4月からケレハ師が教区の典礼

委員長となる。

納骨堂説明会と建設の現状報告

2月16日(土)八事共同納骨堂からの改葬希望者向け説明会。40名ほどが参加。
2月17日(日)一般向けの説明会。150名以上の方が参加。関心の高さがうかがわれた。

本日まで90名ほどの方が申し込まれている。必要性が高いことだったことが改めて分かった。
来週からは、名古屋教区の他教会からの申し込みも受け付ける予定。

今後、建設業者を決める作業に入る。5社の競争入札を行い、4月半ばまでに決める予定。
ヨセフ会全体会開催について

4月14日に開催する予定。
教会美化や何かの行事の後にできるだけ皆さんが集まって分かち合いを行えるようにしていきたい。バーベキューなどをしながら楽しく活動していきたい旨を伝える予定。

4月以降のAED設置のための営繕委員会への選定委託について

リースで設置する際の業者を決めるために営繕委員会で話し合っていく。

その他

営繕委員会の酒井委員長は他の活動との兼務が多く、営繕活動まてなかなか手が回らない。他のことが今後軽くなるはずなので、しっかりと再開していく。

審議事項

南山教会2013年度行事予定の確認と検討

ボクダン師が作成した仮の予定表を見ながら、教会美化の日をいつにするか、信徒全体集会をいつ行うか、避難訓練・救急法講習会開催の是非などが検討された。
教会美化は5月19日と10月13日。
バザー委員会の立ち上げは6月初め。委員長、副委員長はヨセフ会から出る。
典礼奉仕者全体集会は6月16日。
信者全体集会は6月30日。
救急法講習会は7月28日に行う。
避難訓練は8月25日に行う。
マリヤ館倉庫の整理を9月29日に行う。

のクリスマス会

各会の予定はできるだけ早くボクダン師に伝える。

四旬節と復活祭の典礼・祭儀・パーティー等の最終確認

3月16・17日黙想会
3月24日枝の主日
3月28日聖木曜日19時
3月29日聖金曜日19時
3月30日復活徹夜祭19時
3月31日復活祭
パーティーは例年どおり持ち寄りで行う。来週のお知らせに呼びかけを入れる。

アルコール以外の飲み物は手配済みで大量にある。60ケースあるため、厨房だけでなく、マリヤ館倉庫にも置く。

マリヤ館倉庫の分は必要などころで使ってほしい。教会事務へ声をかけて持っていくようにしてほしい。マジックで使う団体の名前を書いておいても良い。厨房の分は御復活のパーティーで使う。アルコールは提供しない。

納骨堂管理委員会のメンバー確認と委員長の選任

主任司祭 ボクダン師
委員長 酒井良雄
副委員長 松浦典文
委員 伊藤恭輔

11月8日(金)はマリヤ会遠足。
12月14日(土)は子ども部屋のリスマス会。
12月15日は午前教会学校クリスマス会、午後ポイスカウト

委員 泉 亨
委員 神戸六郎
委員 マリア会から1名

工事が始まると現場事務所が必要になる。司祭館横に設置する予定。また、工事中は聖堂横の駐車場9台分が使えなくなる。

工事は日曜日には行わないが、土曜日には実施される可能性がある。

その他

学園事務から苦情が寄せられた。ピオ館前のロータリーには駐車しないほしい。

来年度は、成井さん、戸野部さんが交代で運営委員会の書記を務める。

ニコ師より転任を前にしてご挨拶があった。4月から仙台教区の岩手県花巻教会に行く。信者数80名程度。これまで支えてくださった南山教会の信徒の皆様に感謝。今後もお祈りをいただきたい。

各会報告

中高生会
聖霊会の活動紹介に参加予定。
どなたでも参加可能。

3月20日(水)春の集い 13時30分
マリアホール集合
シスター小山の話「命の大切さ」 19時頃終了予定。

3月23日長島スパークランド 8時半集合。17時解散予定。
※3月23日(土)長島に行く人は、必ず3月20日(水)の春の集いに参加すること。申し込み締め切りは3月17日(日)

レジオ・マリエ
3月17日に活動内容紹介。
子ども部屋
ニコ師のこれまでの指導に感謝。子どもたちにとってとても分りやすいお話だった。

典礼委員会
2月10日堅信式
2月11日名古屋教区典礼研修会
2月13日灰の水曜日
2月17日洗礼志願式
3月17日共同回心式・典礼委員会
3月24日受難の主日(枝の主日)
3月28日聖木曜日主の晩餐のミサ
3月29日聖金曜日主の受難の典礼
3月30日聖土曜日復活徹夜祭

ボーイスカウト
一泊野営
4月6日(土)13時〜7日(日)12時
カトリック南山教会信者会館
203・204号室
(7日9時まで撤去)

教会学校
および南山教会中庭
3月3日ゆるしの秘跡
教会学校の子どもたちは、ニコ師によるゆるしの秘跡の指導を受

け、その後聖堂でニコ師とアントニオからゆるしの秘跡を受けた。
次回は4月7日
3月17日ミサ後の各会紹介は、レジオ・マリエ



2013年2月24日 ヨセフ会懇親会

カトリック教会カテキズムより

1375 パンとぶどう酒がキリストのからだに血に変わることによって、キリストはこの秘跡に現存するものとなります。教父たちは、この変化を行うキリストのことばと聖霊の働きとの効力に対する教会の信仰を確固として主張してきました。たとえば、聖ヨハネ・クリズストモは次のように述べています。

「供えられた物をキリストのからだに血にするのは人間ではなく、わたしたちのために十字架につけられたキリストご自身です。キリストの姿を表している司祭がことばを述べますが、その効力と恵みは神からのものです。これはわたしのからだであるとはキリストがいわれるのであって、このことばが供え物を変えるのです。」
また聖アンブロジオは、この変化についてこう述べています。

「これは自然によって形づくられたのものではなく、祝福によって聖別されたものであり、祝福によって自然そのものが変えられるから、祝福の力が自然の力に勝つのだとわたしたちは確信すべきです。「存在しなかったものを無から造り出すことができたキリストのことばは、存在しているものを別のものに変えることができないのでしょうか。ものの本性を変化させるよりは、ものに存在を与えるほうがやさしいわけではないのです」。

南山句会

平成二十五年二月六日



雛飾りドイツの少女迎ふ部屋

寒明けや結婚記念の五十年

赤鬼の小槌のくだり壬生狂言

八十路越へ集ふ笑顔に春立てり

雨風を受けて椿の毅然たり

寒鼻ひそかに象の子の生れて

風花や人の絶えたる晝下り

臘梅の香りを入れて子に送る

名古屋城瑞枝にほころぶ梅白し

牧子 真嬉子 義子 洋子 美智子 せつ子 とく子 紀子 瑞子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

転出

いつまでもお元気で

モエフィア安福久美子 (立川教会)

結婚

♡ お幸せに♡

1月27日

藤川慎一 ♡ シェナのカタケ平田彩子

2月9日

Phanxico Matino TRAN TRANG HIEU

♡ 恒吉淳子

転入

ようこそ

TRAN TRUNG HIEU (たかとり教会)
テカラ杉本千加代 (麴町教会)
モエフ山田淳一 (鈴鹿教会)

教会維持費

2月は1,396,060円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈いします。

帰天

ご冥福をお祈りいたします

2月2日 マリア西尾まつゑ (89歳)

2013年3月・4月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
3月	19(火)聖ヨセフ 28(木)聖木曜日(主の晩餐) 29(金)聖金曜日(主の受難・大斎・小斎) 30(土)聖土曜日 31(日)復活の主日	10(日)子供のミサ 16(土)~17(日) 南山教会四旬節黙想会・共同回心式 30(土)19:00復活の徹夜祭・洗礼式 31(日)日英合同ミサ(9:30)復活祭パーティ	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)運営委員会 10(日)ヨセフ会班長会 16(土)10:30子ども部屋 17(日)典礼委員会 12:00 17(日)教会学校・中高生会卒業式 23(土)要約筆記付きミサ	1(金)世界祈祷日 28(木)聖香油ミサ 30(木)教区評議会
4月	7(日)神のいつくしみの主日	21(日)子供のミサ	5(金)マリア会例会(懇談会) 7(日)運営委員会 7(日)教会学校・中高生会始業式 14(日)典礼委員会 14(日)ヨセフ会全体集会 14(日)ヨセフ会班長会 20(土)10:30子ども部屋 28(土)要約筆記付きミサ	21(日)信徒協委員総会 21(日)召命祈願日 (金)宣司評総会